



ワタミの介護 ご入居者様の「食」を守る 生産から消費まで一貫した管理体制

この度の東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様、並びにご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災では、ワタミの介護におきましても、被災地である福島県いわき市の特別養護老人ホームから、19名の入居者の方を弊社ホームに受け入れさせていただきました。19名の方は、福島から長時間のバス移動で大変お疲れにも関わらず、ホームに到着してから温かいお食事をご提供させていただくと、どの方もほっとされた表情をされ、笑顔でお食事を召し上がっていらっしゃいました。食事は人間にとって命の源であり、人をほっとさせ、安心させてくれるものです。とくに高齢の方々のお預かりするわれわれ介護事業において、ご入居者様の食材の確保、また物流機能の維持というものは、どのような環境下においても低下させることは出来ません。

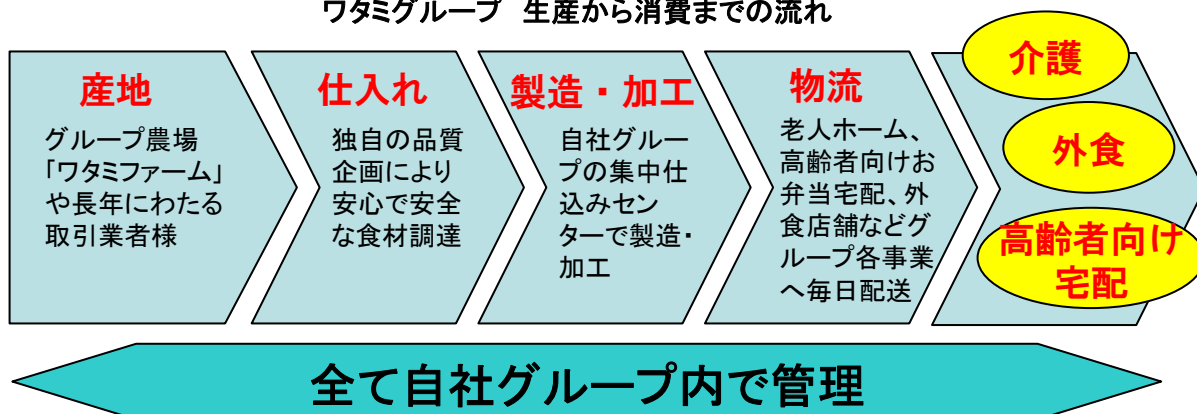
ワタミの介護をはじめ、ワタミグループの各事業会社(高齢者向け宅配、外食など)におきましては、今回の震災により、一部食材の欠品による献立の変更はありましたが、物流や機能は一切止まることなく、弊社老人ホームである64(*2011年3月時点)の施設、そして高齢者向けお弁当宅配の約12万人のお客様などへ、お食事を変わずに毎日ご提供し続けることが出来ました。

～ 生産から消費までの一貫管理体制 ～

「食」にこだわるワタミグループの特徴として、グループ事業のなかに、農場、そして独自の製造・加工センター、また物流機能までを持ち、生産から消費までの全工程を一貫通貫して出来るシステムを構築しています。これらのシステムは、27年の外食事業で培ったノウハウから築きあげたものであり、今回の震災による非常事態においても、グループ内で全ての工程をコントロールしているために、介護、外食、高齢者向け宅配など、各事業会社への食材や物流の調達では迅速な対応が可能となりました。

また、お取引先様には、全ての食材に対して原材料や菌検査の結果がわかる書類の提出を依頼して、グループ独自の品質企画に合った食材のみを使用しています。さらに、その一定の基準を満たした食材をもとに自社内で製造した加工品に対しても、しっかりとした品質検査を行ったうえで出荷をしています。このようなグループ内での一貫したシステムが、品質管理や衛生管理、また物資調達面での危機管理体制として有効な機能を果たしています。

ワタミグループ 生産から消費までの流れ





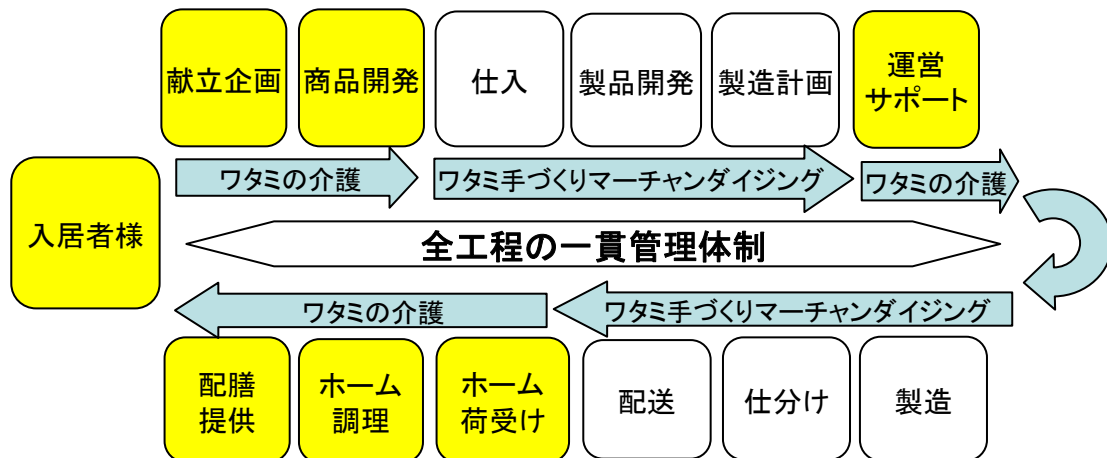
～献立企画からお食事提供までの管理体制～

介護事業におきましても、グループ会社としてのスケールメリットを活かした食事の開発や仕入れ、そして運営により、安全で品質の高い商品を低価格でご提供することを実現しています。

グループ全体では、約220企業もの幅広い業者様とのお取引があり、食材の仕入れ先が非常に豊富です。例えば、今回の震災時に欠品が相次いだ牛乳、卵、パンや豆腐なども、多くの取引業者様との信頼関係とご協力により、ホームへの食材の調達が柔軟に行われました。また、ご入居者様にお届けする毎日のお食事は、自社内で献立企画・商品開発を行い、グループ工場での一次加工を経て、ホームにいる自前の厨房スタッフによる最終仕上げでのご提供となっております。今回の欠品食材の代替品や計画停電などによる献立変更などにおいても、一貫体制を設けている社内での連絡体制と連携により迅速な対応が可能でした。

このように、自社内、そしてグループ内で全工程を管理しているため、緊急時においても、安全で安心な品質のよいものを、滞ることなくご入居者様にお届けすることができる体制となっております。

ワタミの介護 グループ会社との連携による食事提供までの流れ

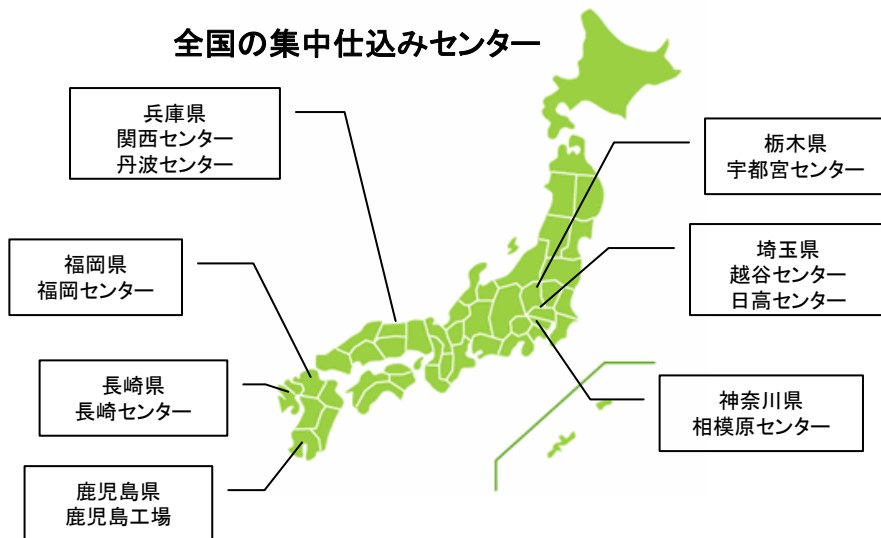


～ワタミグループを支える「ワタミ手づくりマーチャндаイジング」～

さらに、この一貫管理体制を支えるワタミグループの心臓部として、独自のマーチャндаイジングシステムを構築しています。ワタミの介護のご入居者様へご提供しているお食事も、殆どがこのグループ事業会社「ワタミ手づくりマーチャндаイジング」が運営する集中仕込みセンターにて製造・加工されています。

このワタミグループの「食」を支える集中仕込みセンターは、全国に9箇所(*2011年4月現在)あり、毎日約13万食がこのセンターから、介護、高齢者向けお弁当宅配などの現場へ、そしてそれ以外にも、約640の外食店舗へ配送されて行きます。

全国の集中仕込みセンター





これら全国9センターの稼働により、有事の際のリスク分散としても工場や食材調達の機能が止まらないような体制となっています。今回の震災時においても、介護、外食、お弁当、給食とそれぞれの製造センターが分かれているため、機能が停止することなく稼働をすることが出来ました。さらに、緊急事態の際には、まず一番にホームにご入居されている高齢者の方々のお食事が守られる体制となっています。

それら介護の食事を支える埼玉県越谷センターでは、先日の計画停電にそなえ、一番影響の少ない深夜帯に製造を前倒しするなど、震災以降24時間体制でご入居者様の「食事」を支えてきました。

越谷センター長の廣田哲昭(ひろたてつあき)は、今回の震災時の対応も、グループ内での「仕入れ」「製造」「物流」との連携が全てだったと振り返ります。工場スタッフ、また関係者全員の「なんとしてでも、ご入居者様の食を守る」、という強い信念のもと、夜中までの作業対応の結果、約4000名いらっしゃるご入居者様の食の安心を確保することが出来ました。今後はさらに工場機能を分散するなど、有事の際のリスク対策を強化していく予定です。



越谷センター

また、越谷センターからは、ワタミの介護ホームへ毎日約1万食を製造・配送しています。普通食のみならず、嚥下の困難なご入居者様へのお食事としての「ソフト食」なども、全てこのセンターからお届けしています。1万食という大量製造ではあるものの、食事の開発からご提供までを全てワタミグループで関わることにより、開発時の「思い」をご入居者様にどうお届けするかを、社員全員が大切にしながら取り組んでいます。



工場内の製造ライン

このように、ワタミの介護では、ワタミグループ事業との連携により、生産から消費まで一貫したビジネスモデルでの事業展開を実現しています。

これからも、ワタミの介護では、高齢者の方がよりいっそう安心して生活できる社会をめざし、ご入居者様を自分の親だと思い、その親を思う気持ちをカタチにしていけるよう努めてまいります。

■■会社概要■■

社名 ワタミの介護株式会社

□代表取締役社長 清水邦晃 □所在地 東京都大田区羽田1-1-3 □設立 1992年11月 □資本金 9,500万円

□事業内容 介護付有料老人ホーム事業、住宅型有料老人ホーム事業、通所介護(デイサービス)事業、訪問介護(ホームヘルプサービス)事業、訪問看護事業、居宅介護支援事業 ワタミの介護HPはこちら <http://www.wataminokaigo.net/>

入居に関するお問い合わせは入居相談室へ ☎ 0120-37-1865

■■リリースに関するお問合せ先■■

ワタミ株式会社 広報グループ 03-5737-2784

ワタミの介護株式会社 営業企画部 安藤枝里子 丹野美紀 03-5735-4165

ワタミの介護リリース&トピックスページはこちら <http://www.wataminokaigo.net/company/release.html>